

支援好事例 1



地 域	沼津市就労準備支援センター		
性別・年齢	男性	33歳	
受給期間	6年 3月	支援期間	平成28年11月～平成29年2月
特徴・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・母親と両親との3人暮らし。 ・父親はパートで清掃の仕事、母親はポスティングで月3000円程度の収入。 ・高校卒業後1か月ほど働くも祖母介護のため退職、以後13年就労をしてなかった。平成26年に清掃業につくが仕事をほとんど与えられなかった。 ・コミュニケーション能力が低い。 ・自転車に乗れないが、3輪自転車がほしい。眼鏡を変えたい。携帯電話がほしい。この次の誕生日までに給料を貰っていたい。などの希望がある。 		
支援メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・リボンに定期的に通所、セミナーなどに参加し、他の利用者との交流することで、コミュニケーション能力の向上を図り、社会性を身につける。 ・履歴書の添削や模擬面接を実施し、応募の準備を行う。 ・2輪自転車に乗れるようになり、自転車を取得し、活動範囲（通勤可能範囲）を広げる。 ・通勤可能な範囲での企業への応募。 		
支援概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の練習を海岸などで実施し、乗れるようになり、中古自転車を取得した。（11～1月） ・リワークセミナーに参加し、テーマに前向きに取り組んだ。他の利用者とのコミュニケーションも積極的に図れた。（11～1月 セミナーに7回参加） ・みどりまつりのイベントに参加し、販売体験をした。（11月） ・履歴書の添削を行い、貼付用の写真も撮影した。面接に慣れるため、模擬面接も時間をかけて行った。（12～1月） ・就労に向けての準備が整った段階で、スーパーの品出しの求人に応募、見事に採用となった。（1月 @810 1日4時間、週5日 アルバイト） ・就労が継続できている為、2月末で支援完了となった。 		
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・初回面談時に、本人の希望をいつまでに実現するかなど、目標を具体的にすることができた。 ・自転車は乗れないと思い込んでいたが、実際に乗れるようになり、本人にとって大きな自信となった。 ・セミナーに積極的に参加することで、コミュニケーション能力が向上した。 ・本人のやる気が醸成できた。 		

支援好事例2



地 域	沼津市就労準備支援センター		
性別・年齢	男性	48歳	
受給期間	1年 2月	支援期間	平成28年9月～平成29年3月
特徴・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引きこもり生活を送っている。 ・家の中にゴミを貯めている状況。 ・家賃が受給金額を上回っている為、引っ越しを希望。（家賃は6万円以上） ・軽自動車（車検切れ）の処分。（廃車） ・就労に向けての準備が必要。（生活改善や社会性を身につける） 		
支援メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅のゴミを処分する。 ・軽自動車の廃車処理。 ・受給規定内家賃先への引っ越し。 ・リボーンに定期的に通所、セミナーなどに参加し、他の利用者との交流することで、コミュニケーション能力の向上を図り、社会性を身につける。 ・履歴書の添削や模擬面接を実施し、求人応募の準備を行う。 		
支援概要	<ul style="list-style-type: none"> ・リワークセミナーに参加し、テーマに前向きに取り組んだ。他の利用者とのコミュニケーションも積極的に図れた。（9～3月 セミナーに11回参加） ・履歴書の添削を行い、貼付用の写真も撮影した。（9月） ・リボーン農園で、野菜作りを体験した。（10月～3月 農園に9回参加） ・他の利用者の協力により、家の片づけ及び清掃を行った。（10月） ・軽自動車の廃車処理を行った。（10～11月） ・みどりまつりのイベントに参加し、販売体験をした。（11月） ・CWさんの了解を得て、規程内家賃のアパートに引っ越し。（1～2月） ・ハローワークに同行し、ハローワークカードを作成した。（3月） ・生活改善も図れ、就労準備が整った為、3月末で支援完了となった。 		
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・抱えている問題を具体的にすることができた。 ・具体的ななった問題を順番に解決する事ができた。 ・セミナーや農園などに積極的に参加することで外出する機会が増えた。 ・セミナーに参加することで、他の利用者と接することでコミュニケーション能力が向上した。 ・生活環境を改善することで、本人のやる気が醸成できた。 		

支援好事例3



地 域	沼津市就労準備支援センター		
性別・年齢	女性	28歳	
受給期間	生活困窮	支援期間	平成28年 7月～平成29年 3月
特徴・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・両親と3人暮らし。 ・専門学校を卒業後6年間就職ができていない。 ・パソコンのスキルは高い。 ・過去にいじめにあった経験があり、対人関係に不安を抱えている。 ・ひきこもり状態を克服したい。（生活習慣を改善する） ・事務の仕事をしたい。 		
支援メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活リズムをつくる。（朝決まった時間に起きる、身の回りの出来ない事を出来るようにする） ・定期的に通所し、セミナーや農園作業等に参加することでコミュニケーションスキルの向上を図る。（挨拶・言葉使い・会話の練習） ・就労に関する知識の習得。（職業適性検査、社会人基礎マナーの習得、履歴書添削、ハローワークでのパソコン検索や職業訓練の情報収集） ・就労体験の実施。 ・職業訓練の応募。 		
支援概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生活記録表を作成し、生活リズムの改善を図った。（7月） ・履歴書の添削を行い、貼付用の写真も撮影した。（7月） ・リワークセミナーに参加し、テーマに前向きに取り組んだ。他の利用者とのコミュニケーションも積極的に図れた。（7～3月 セミナーに15回参加） ・ハローワークに同行PC検索を実施、職業訓練の情報収集もした。（8月） ・医療事務の公共職業訓練に応募した。（9～10月 応募するが不合格） ・リボン農園での農園作業の体験をした。（10月～1月 農園に2回参加） ・就労体験を実施した。（10月～2月 毎週水曜日と金曜日） ・医療事務の公共職業訓練に再度応募した。（1～2月 合格となり2/28より通所することとなった） ・職業訓練の通所も始まり3/8の支援調整会議にて終結、支援完了となった。 		
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・生活記録表を作成することで、生活リズムの振り返りができた。 ・セミナー等に積極的に参加することで、外出する機会が増えた。 ・セミナー等で他の利用者と接し、コミュニケーション能力が向上した。 ・就労体験を行うことで就労に対する自信と意欲がでてきた。 ・本人の医療事務講座に通いたいというやる気が醸成できた。 		

支援好事例4



地 域	沼津市就労準備支援センター		
性別・年齢	男性	19歳	
受給期間	生活困窮	支援期間	平成28年 11月～平成29年3月
特徴・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・強迫性障害で高校2年時1年間、平成28年8月まで半年間の2回入院歴あり。 ・祖母、母親、弟の3人暮らしで父親は母と離婚している。 ・働く意欲がなく、引きこもりがち。 ・住み込みで賄いの仕事をするが3ヶ月ほどで退職。 		
支援メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・生活記録表を記入し、規則正しい生活をおくる。 ・セミナー参加等、リボーンに定期的に通所し社会性を養う。（コミュニケーション能力の向上を図る） ・仕事に対する心構えを養う。 		
支援概要	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりまつりのイベントに参加し、販売体験をした。（11月） ・キャリアインサイトを実施し、お仕事手帳の作成を行った。（11月） ・生活記録表を作成し、生活リズムの改善を図った。（11月） ・リワークセミナーに参加し、前向きに取り組んだ。他の利用者とのコミュニケーションも積極的に図れた。（12月～2月 セミナーに6回参加） ・リボーン農園での作業に参加した。（12月～1月 農園に2回参加） ・就農・就労体験を行った。（12～2月 就農体験2回 就労体験 5回） ・履歴書の添削を行った。（2月） ・就労体験先でのアルバイト勤務が決定。（2月） ・就労も継続できており3/15の支援調整会議にて終結、支援完了となった。 		
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーや農園、イベント等に積極的に参加することで、外出する機会が増えた。 ・生活記録表を作成することで、生活リズムの振り返りができた。 ・セミナー等で他の利用者とし、コミュニケーション能力が向上した。 ・就農・就労体験を行うことで就労意欲がでてきた。 ・本人の希望する体験や作業を具体的に実施することで、本人のやる気が醸成できた。 		